

## 健診の受診手続き

### (1) 健診機関の予約

・生活習慣病予防健診の実施機関に事前に予約する必要があるため、ご自身（または事業所）で受診の予約をしてください。

- ① 日赤医療施設（直接契約医療機関）
- ② 一般医療機関（直接契約医療機関）
- ③ 東京都総合組合保健施設振興協会（東振協）提携先医療機関 <※>

※予約時には、必ず**組合名とBコースの健診を希望していること**を先方にお伝えください。

・対象機関は、日赤健保ホームページからご確認いただけます。

### (2) 健診の受診

・当日、予約した健診機関に①保険者証、②健診費用をお持ちになり、健診を受診してください。

### (3) 健診結果の送付

・健診受診後、健診機関から健診結果が送付されます。（日赤健保にも送付されます。）

・健診の結果、生活習慣病のリスクが高い方へヘルシーライフサポート（特定保健指導）を案内します。

### よくあるご質問

### 日赤健保の回答

なぜ被扶養者（家族）は生活習慣病予防健診を受診できないのですか？

現在 日赤健保では、健診対象年齢の拡充など保健事業の更なる充実化に向けて、必要な資金確保に努めています。

資金確保の見通しがつき次第、被扶養者様が受診できる健診も拡充することを考えています。

当年度はご容赦くださいますようお願い申し上げます。

受診券がなくても生活習慣病予防健診を受診することは可能ですか？

受診可能です。なお、東振協提携先医療機関の受診を希望する場合は、日赤健保に所属していること、B コースの健診を希望することをお伝えください。

### 照会先：日本赤十字社健康保険組合 保健係

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-3

TEL:03-6680-9160（保健係直通）

日赤健保 保健事業ホームページ URL：

<http://www.kenpo-jrc.or.jp/member/health/index.html>



## 生活習慣予防健診

## ご案内

健康診断は、ご自身の健康状態と生活習慣を知ることが出来る大切な第一歩です。

※ 本健診は、被保険者（ご本人）のみが受診できます。（受診対象年齢は、次ページのとおりです。なお、対象年齢以外の方が受診されると、全額自己負担となることをご注意願います。）

※ 本健診への補助は1回/年度です。

※ 被扶養者（ご家族）の方は、特定健診（メタボ健診）を受診することが出来ます。

※ 本健診には、労働安全衛生法に基づく健康診断の項目が含まれるため、事業所健診を兼ねて本健診を受診することも可能です。



日本赤十字社健康保険組合  
Japanese Red Cross Society Health Insurance Association

# 生活習慣病予防健診の内容



受診希望者の年齢やご希望に応じて、次の健診を行い、生活習慣病のリスクを発見することに努めます。

- ※ 費用の一部を当組合が補助します。
- ※ 受診対象年齢は当該年度に対象年齢に達する方です。
- ※ 当該年度に75歳になる方は、誕生日前日まで受診可

## (1) 一般健診

受診対象：35～75歳未満の方

- ・診察等（問診、身体計測、視力検査など）
- ・血圧測定、尿検査（尿糖や潜血など）
- ・糞便検査（便潜血）
- ・血液検査（血球、血糖、脂質、肝機能の状態により動脈硬化、糖尿病などのリスクを調べる。）
- ・心電図検査、胸部レントゲン検査
- ・胃部レントゲン検査

【健診機関によっては、胃内視鏡検査に代えることも可。】

- ・眼底検査（動脈の状態を調べる。）

【医師が必要と判断する場合のみ実施。実施の場合は、別途 料金が発生します。】

オプション検査（2）～（7）  
各種がん検診など

## (2) 付加健診（一般健診と同時受診）

受診対象：35,40,45,50,55,60,65歳及び70歳の方

（※東振協提携先医療機関は受診不可）

- ・尿沈渣（尿に沈殿する血球などの有無や量を把握し、腎機能の状態を調べる。）
- ・血液学的検査 {血小板数、末梢血液像（白血球の状態を調べる。)}
- ・生化学的検査（総蛋白、アルブミン等）
- ・眼底検査 ・肺機能検査（努力肺活量）
- ・腹部超音波検査

## (3) 子宮頸がん検診

受診対象：

- ① 20～40歳未満の女性は、単独で受診可  
（※東振協提携先医療機関は受診不可）
  - ② 一般健診受診者は、35～75歳未満の年齢の方が受診可
- ・問診
  - ・頸部細胞診検査（医師が細胞を採取します。）

## (4) 乳がん検診（単独受診可）

受診対象：35～75歳未満の女性

- ・乳房X線検査（マンモグラフィ）、または超音波検査
- ※健診機関により検査内容の選択や35歳～39歳の方は実施できない場合があります。

※東振協提携先医療機関は単独受診不可

## (5) 肝炎ウイルス検査（一般健診と同時受診）

受診対象：35～75歳未満の方で今までに受診したことがない方（1回のみ）

- ・HBs抗原 ・HCV抗体

（現在の感染有無、HCVキャリアの有無を調査）

※ HCVの抗体検出量に応じて、HCV核酸増幅検査を実施することもあります。ただし、実施可否は健診機関によります。

## (6) 胃がんリスク検査（一般健診と同時受診）

受診対象：35～75歳未満の方で今までに受診したことがない方（1回のみ）

- ・ABC検査（血清ピロリ抗体+ペプシノゲン）
- ・ピロリ菌検査（血清・尿中抗体、便中抗原）

※ 医療機関によって検査の種類が異なります。

## (7) 前立腺がん検診（一般健診と同時受診）

受診対象：50,55,60,65歳及び70歳の男性

- ・PSA検査

自己負担費用やコース名は各健診機関によって異なります。

日赤健保 HP までアクセス！



◎保健事業⇒生活習慣病予防健診

（任継含む本人）⇒生活習慣病予防健診の内容、対象者、補助上限額（PDF）